

テクニカルインフォメーション

つや消し塗装コンセプト

B 6

塗装

R-M つや消し塗装コンセプトは、オニキス HD の上にシリカトップやサテイントップを塗装し、同じつや消しレベルに達することを目的に開発されました。この2つのつや消しクリアーを混ぜることにより、60°で12から最大65までの光沢値が実現可能です。

背景

同じ車でも、補修されていない部分と補修済みの部分や、補修されていない箇所でも場所により、光沢に差が生じることがあります。このような場合、補修工程を増加させる一因となりえます。

光沢が異なる理由

- 初期塗膜光沢の偏りや、ばらつき(自動車生産ラインなどで塗装されたつや消し塗膜は、垂直面と水平面で、光沢が異なって見える)
- 自動車メーカーにおける、光沢レベルの異なる、多種多様な塗料製品の使用
- 補修工程において、塗装後のフラッシュオフタイムが不十分であったり、膜厚が厚すぎたり薄すぎたりするため、つや消しクリアーの光沢レベルが異なることも1つの要因。その他の理由として、推奨されているベースコート膜厚が守られていなかったり、正しく重ね塗りされていないことが挙げられる

対策

- 上記で説明したような異なる光沢レベルを防止するために、R-M ではベースコートとクリアーコートの規程膜厚の順守、またクリアーコート塗装毎にセッティングタイムを充分に取ることを推奨
例: 表面が完璧につや消し状態になるまで乾燥させる
(塗装間と強制乾燥前は、つやが消えるまでセッティングタイムを取る。1回目の塗装後は10-15分間フラッシュオフを取り、2回目の塗装後15-20分間のセッティングタイムを取る。各塗装の間は、25分以上のフラッシュオフは取らないでください)
- 補修する車体の光沢レベルを判断するために、R-M 光沢見本帳の使用を推奨
- R-M 光沢見本帳は、ソリッドカラーやメタリックカラーのベースコート塗膜を参照しているので、明るく冴えたシルバーカラーでは、光沢レベルが上がる。このため、補修する前に毎回スプレーアウトの実施を推奨
- シリカトップやサテイントップは、プラスチック部品に対してフレックス添加剤なしで使用することが可能
- つや消し塗膜は、ゴミブツを除去する場合でも、ポリッシングすることはできない
- つや消し塗膜はボカシ塗装ができないため、パネル全体の塗装が必須

本書内のデータは、現時点での弊社の知識と経験に基づいて提供しております。弊社の製品を使用した作業、ならびに塗装に影響を及ぼす可能性のある様々な要因を考慮すると、本書で提供されている情報に関わらず、製品使用者それぞれにおいて調査や試験を実施する必要があります。本文書内の記述、図表、写真、値、比率、重量などは、一般的な情報に限定して提供しており、事前の通知なしに内容が変更されることがあります。また、製品仕様など、契約上同意した製品の品質とは区別して取り扱うものとします。最新版の文書が、全ての古い文章より優先されます。最新版は、Web サイト www.rmpaint.com または、営業担当者から入手することができます。弊社の製品使用者は、所有権、法律、規定など責任を持って順守しなければなりません。

R-M Automotive Refinish Paints, Z.I. du Merret F-60676 Clermont de l'Oise Cedex, Tel. (+33) (0) 3 44 77 77 77, 01/2017



テクニカルインフォメーション

つや消し塗装コンセプト

B 6

付加情報

禁止事項:

- クリヤー表面へのポリッシング / サンディング
- ワックス / つや出し剤の使用
- 「引っかき傷」をもたらすようなスポンジの使用 (例: 家庭用スポンジ、布切れなど)
- あらゆるタイプの強力な化学物質の使用 (例: クレンザー、オイル、油脂など)

クリーニング:

- 洗車機は使用不可
- 直射日光のもとで、つや消しクリヤーを塗装した車の洗車は、厳禁
- 洗車前に、エアブローをしてゴミ、葉などの付着物を除去
- 取り除けなかった虫の死骸、鳥糞などは大量の水でふやかし、高圧洗剤で除去
- 車体は、なるべく柔らかいスポンジを使用し、中性洗剤と大量の水を用いて、手で洗車
- 洗車した車は、なるべくエアブローや柔らかい革の切れ端で拭う

下地

- R-M フィラー (R-M PREP'ART システム)
- 自動車 OEM 塗膜
- 硬化型補修塗膜

必要な製品

- PK 2000
- オニキス HD または ダイヤモンド
- サテイントップ / シリカトップ / クリスタルクリヤー CP または スタートップ HS
- H 420 または H 9000
- SC 850

安全に関する注意

本製品には、取り除けない 0.1 μm 未満の細かい粒子が含まれている可能性があります。

業務用向けに限定された製品です。

これらの製品を使用される際には、労働安全衛生ガイドラインに従い個人保護具を着用して下さい。



テクニカルインフォメーション






つや消し塗装コンセプト

B 6

前処理

	脱脂: PK 2000
---	-------------

ベースコートの塗装

	1日2回、15分間、攪拌機でオニキス HD ミキシングベースを攪拌。 オニキス HD ミキシングベース: 100% (vol.) 色により異なる ハイドロミックス: 60% (vol.) 60 g 計量後、すぐによく攪拌し、塗装前にろ過すること。 注意: メタリックやパールベースの塗装の際は、スプレーガンの中にフィルターを入れないこと。HB 004 スローを使用する場合は、必ずハイドロミックススローも使用すること									
	塗膜粘度 (20°C): ISO4 カップ: 42 - 68 秒									
	ポットライフ: オニキス HD (調色済み): 密閉したプラスチック容器で 6 か月 オニキス HD (希釈済み): 密閉したプラスチック容器で 1 週間									
	HVLP 重力式スプレーガン: 1.4 - 1.5 mm 0.7 bar (先端)									
	<table border="0"><tr><td>塗装回数:</td><td>ソリッドカラー 2 - 3 回</td><td>メタリックまたはパール 1 - 2 回 + ミストコート 1 回</td></tr><tr><td>膜厚:</td><td>20 - 25 μm</td><td>12 - 15 μm</td></tr><tr><td>フラッシュオフタイム:</td><td colspan="2">塗装毎につやが消えるまでフラッシュオフタイムを取る</td></tr></table>	塗装回数:	ソリッドカラー 2 - 3 回	メタリックまたはパール 1 - 2 回 + ミストコート 1 回	膜厚:	20 - 25 μm	12 - 15 μm	フラッシュオフタイム:	塗装毎につやが消えるまでフラッシュオフタイムを取る	
塗装回数:	ソリッドカラー 2 - 3 回	メタリックまたはパール 1 - 2 回 + ミストコート 1 回								
膜厚:	20 - 25 μm	12 - 15 μm								
フラッシュオフタイム:	塗装毎につやが消えるまでフラッシュオフタイムを取る									
	乾燥時間 (20°C): 約 15 分 別途、エアブローを実施することで、作業をスピードアップすることが可能 乾燥時間 (60°C): 約 10 分 + 冷却									

つや消し塗装コンセプト

B 6

クリヤーの塗装

	R-M クリヤーの混合比 (光沢レベル 12 - 65)							
	硬化剤として H 9000 を使用する場合:							
	混合比 (vol.)	光沢レベル +/- 2 (60°)						
		20	25	30	40	53	65	
	シリカトップ	100	80	60	30	—	—	
	サテイントップ	—	20	40	70	100	75	
	スタートップ HS	—	—	—	—	—	25	
	使用前に、よく攪拌すること。							
	混合クリヤー:	100% (vol.)	100 g					
	H 9000:	25% (vol.)	27 g					
	SC 850:	25% (vol.)	22 g					
	硬化剤として H 420 を使用する場合:							
	混合比 (vol.)	光沢レベル +/- 2 (60°)						
		12	20	25	30	40	53	65
	シリカトップ	100	60	40	20	—	—	—
	サテイントップ	—	40	60	80	100	90	80
	クリスタルクリヤー CP	—	—	—	—	—	10	20
	使用前に、よく攪拌すること。							
	混合クリヤー:	100 g						
	H 420:	23 g						
	SC 850:	36 g						
	HVLP 重力式スプレーガン:	1.3 - 1.5 mm	0.7 bar (先端)					
	汎用重力式スプレーガン:	1.3 - 1.4 mm	2.0 - 2.5 bar					
	塗装回数:	2 回						
	膜厚:	40 - 50 μm						
	塗装間と強制乾燥前は、つやが消えるまでセッティングタイムを取る。塗装間と強制乾燥前は、つやが消えるまでセッティングタイムを取る。1 回目の塗装後は 10 - 15 分間フラッシュオフを取り、2 回目の塗装後 15 - 20 分間のセッティングタイムを取る。各塗装の間は、25 分以上のフラッシュオフは取らないでください							
	乾燥時間 (60°C):	30 分						